新聞　新聞定価 朝夕刊月ぎめ 3.925円(本体価格 3.738円、消費税 187円)、1部売り(税込み)朝刊 130円、夕刊 50円　第3種郵便物認可

ママ医師 時短で支援

名古屋大、離職歯止め

地域医療はいま

週30時間勤務・当直なし

出産を機に家庭との両立に悩み、職場を離れる女性医師は少なくない。だが、いまや医師国家試験の合格者の3割以上は女性。しかも、小児科や産婦人科など「医師不足」が言われる診療科に女性医師は多い。経験を積んだ女性医師が現場を離れるのは病院や社会にとっても損失と言える。名古屋大病院小児科と関連病院は4月、子育て中の女性医師を短い勤務時間で受け入れる全国でも珍しい取り組みを始めた。

（岡崎明子）

医師の子どもらを受け入れる院内保育所の保育士ら＝名古屋市立大病院

派遣先病院も

公立陶生病院（愛知県瀬戸市）の小児科医、加藤英子さん(36)は昨年5月、名古屋大の小島勢二教授に休職願のメールを書いた。

「当直業務を月5～7回こなし、緊急呼び出しにも対応して参りましたが、旦那さんおよび子どもから仕事を辞するよう言われ続けておりました。7、4、1歳半の3人の子育てとの両立が、心身共に限界となってきております」

当時、加藤さんは同病院の部長職にあった。優秀な小児科医が病院を離れるのはもったいないと、小島教授は「加藤先生の悩みは小児科全体の悩み。どうしたら働き続けられるのか、調査して欲しい」と加藤さんに依頼した。

同大小児科医局員や出身者らで作る「順清会」の374人を調べたところ、20代では女性が46%、30代は41%、40代は27%を占めた。女性は40代に入ると、医局から医師を派遣している関連病院での勤務者が激減し、救急や当直勤務が無い個人医院での勤務が急増することがわかった。

そこで、20～30代の女性医師のうち、子育てを経験した24人にアンケートしたところ、22人が「週30時間勤務・当直無しなら、育児しながら関連病院での勤務が可能」と回答した。

これを機に、ワーキンググループが結成され、短時間勤務を柱とする「子育てポスト」制度が設けられることになった。関連病院38施設に制度の導入が可能かどうかを確認したところ、医師の数が比較的多く短時間勤務者を受け入れやすい18施設が可能と回答。短時間勤務希望者と病院とのマッチングが4月に始まった。第1号として、2歳と5歳の子どもを育てている女性医師(33)が、名古屋被済会病院で働いている。

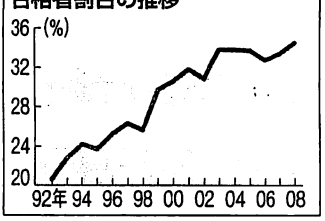
加藤さんは昨年10月から、試行的に週2日は3時間、3日は8時間の計30時間勤務に就いている。「以前、当直の日は2日分の食事を用意してから出勤していたが、母親がいないと子どもが荒れた。今は夫も子どももリラックスしている。仕事が大好きだから、辞めたくなかった」。2年後に通常勤務に戻る予定という。

子育てポストは男性医師にもメリットがある。現状では当直明けも働き続けるのが普通だが、昼間の仕事を「子育てポスト」の女性医師に任せれば、長時間勤務による医療事故リスクを減らせる。

名古屋市立大病院も4月から24時間保育と病児保育を行う保育所を院内に開設した。女性医師の働く環境づくりが少しずつ進んでいる。

The Asahi Shimbun

医師国家試験における女性合格者割合の推移



た

員会からゲーを得て営業しランプゲームけさせている

の大半が錦・月には同地区。県警が06年して積極的な年末には15店カジノ店経営を返納し、ゼ

摘発強化、許可証を返納

06年以降、賭博開帳図利容疑などで摘発されたのは8店。残りは摘発を受けずに店側が自主的に許可証を返納したケースで、廃業の大半を占めている。

県警保安課によると、自主的に許可証を返納する店が増えた背景には、1日当たり数百万円から数千万円に上る売上金や、1台100万円以上するバカラ台の押収を店側が恐れたことがあるという。一方、摘発を免れようと、扉に鍵をかけたり、扉を何枚も設けたりする違法店や、エレベーターで特殊な操作をしないと店に入れない「アングラカジノ」が増える懸念もあり、同課は警戒を強める。愛知県内全体では岡崎市に2店が残るが、事実上は開店休業状態だという。（藤森かもめ）